

株主および投資家のみなさまへ

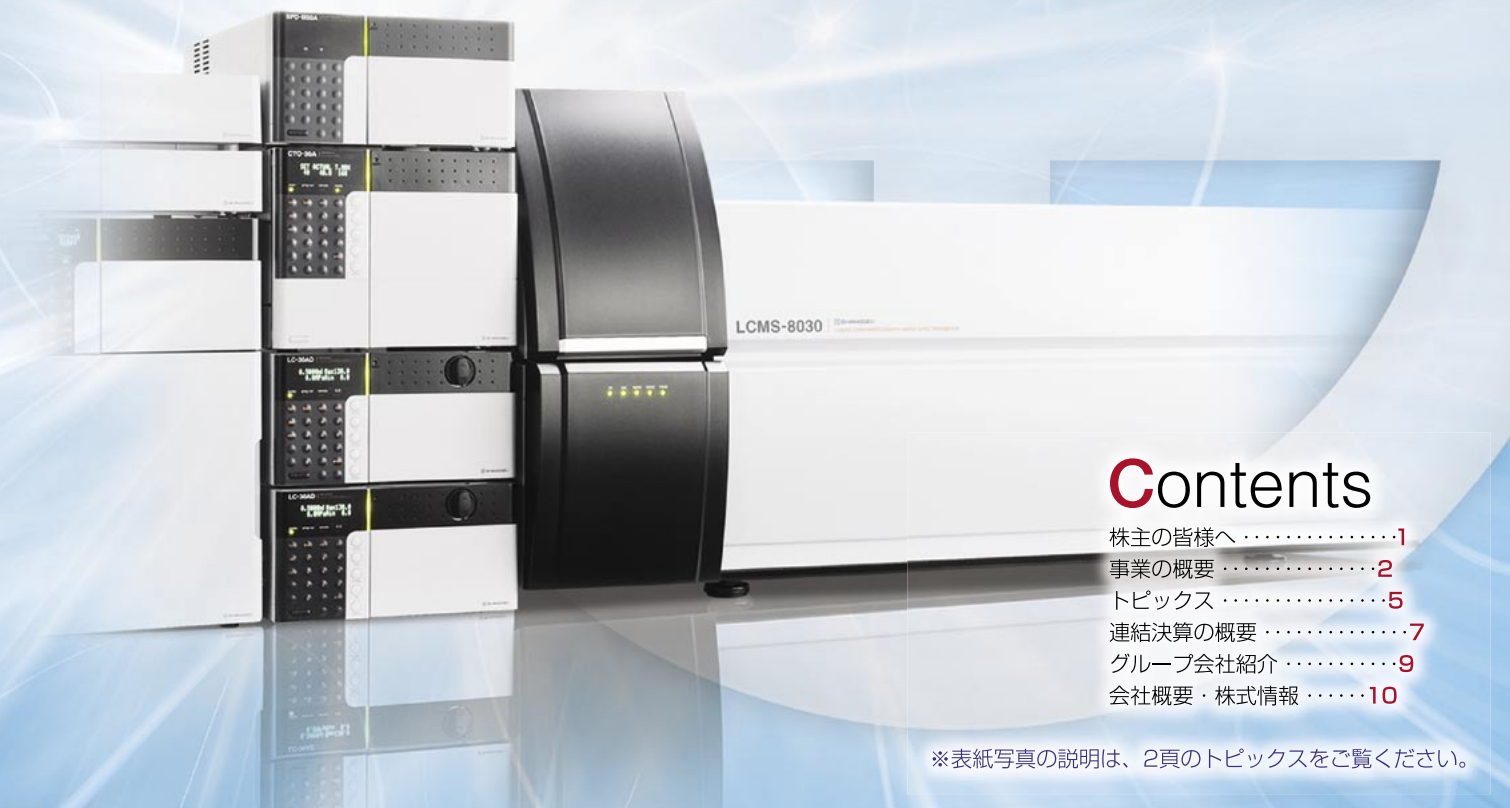
Shimadzu Report

第148期 中間事業のご報告

平成22年4月1日～平成22年9月30日

株式会社 **島津製作所**

世界に支持される島津ブランド



Contents

株主の皆様へ	1
事業の概要	2
トピックス	5
連結決算の概要	7
グループ会社紹介	9
会社概要・株式情報	10

※表紙写真の説明は、2頁のトピックスをご覧ください。

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
ここに第148期上半期（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）の
事業のご報告をお届けいたしますので、
ご高覧賜わりますようよろしくお願い申し上げます。

平成22年12月

取締役社長 **中本 晃**



当上半期の業績

当上半期のわが国経済は、アジア向けを中心に輸出が増加していることや経済対策の効果などを背景に、おおむね回復基調を維持しました。海外においては、アジアでは中国やインドを中心に景気は拡大しました。欧州ではギリシャの財政危機などの影響もあり一部で停滞がみられるものの、ドイツなどの主要国を中心に景気の改善が続きました。米国では失業率が高止まりしているものの、経済対策の効果もあり景気は緩やかな回復が続きました。

このような情勢のもとで当社グループは、当期を再び成長軌道に乗せるための基礎固めの年と位置づけ、新興国市場での業容拡大、アフターマーケット事業の拡大、高い付加価値や卓越したコストパフォーマンスを実現した製品の投入など、成長

に向けた施策を積極的に進めています。同時に“世界に支持される島津ブランド”の構築を目指して、“マーケティング力の強化による成長の持続”と、確固たる収益基盤を構築するための“機能・プロセス改革”を進めています。

この結果、当上半期の業績につきましては、売上高は1,170億8千2百万円（前年同期比11%増）となり、営業利益は46億8千2百万円（同132%増）、経常利益は39億1千5百万円（同107%増）、中間純利益は27億9千1百万円（同133%増）となりました。

中間配当金につきましては、1株につき4円とさせていただきます。

今後の見通し

今後の見通しにつきましては、世界経済は緩やかな回復が続くと見込まれ、こうした海外経済の改善や各種の政策効果などを背景に、やや足踏み状態にあるわが国の景気も持ち直していくことが期待されます。このような経営環境のなかで、中国・インドなど新興国市場での積極的な事業展開や新製品を軸とした営業の強化などの諸施策を実行することにより、厳しい円高のもと、売上の拡大と収益の向上を目指してまいります。

当社グループでは、中国を中心にした新興国市場での更なる業容拡大、アフターマーケット事業の拡大、顧客の環境保全への意識の高まりに応えた低消費電力化を実現した製品の開発、高い付加価値や卓越したコストパフォーマンスを実現した新製品の投入など、成長軌道への回帰に向けたこれらの施策を

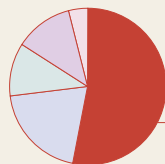
強力に進めています。また、設計変更による大幅なコストダウンの推進、海外部品の調達促進や海外生産での現地調達率の向上によって、急激な円高など為替変動への対応力を強化していくとともに、特に、高い経済成長の持続が予想される中国では、競争に打ち勝ち、一層の事業拡大を実現する開発・製造・販売・サービスのトータル事業体制を構築するなど、グローバルな事業体制の強化に取り組んでいます。

これらの施策を実施することにより、平成22年度は、再び成長軌道に乗せるための基礎固めを行い、平成23年度（第149期）から始まる予定の新しい3カ年**中期経営計画**の策定とこれに基づく新たな事業展開につなげていきます。

株主の皆様には、今後とも引き続きご支援を賜わりますようお願い申し上げます。

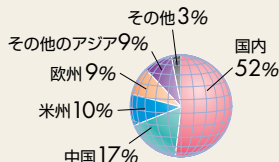
事業の概要

計測機器事業



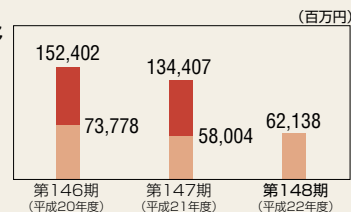
当上半期連結売上高
621億3千8百万円
(前年同期比7%増)
売上高構成比 **53%**

地域別売上高構成比



売上高推移 (連結)

通期 上半期



【概況】

- 国内市場は、景気の急激な後退前の水準にはいまだ及んでいませんが、全体の売上は増加しました。官庁大学市場では、補正予算関連の需要などもあった前年度に比べて売上は減少したものの、民間市場では、企業業績の改善に伴い、研究開発投資・設備投資が回復し、また環境や新エネルギー関連など好調な分野がありました。製品ではガスクロマトグラフ、質量分析計、光分析装置の需要が増加し、試験機、表面分析装置の需要が回復しました。
- 海外市場は、先進国では緩やかに景気が回復し、また新興国では引き続き景気が拡大したことにより、全体として売上は増加しました。欧州・米国では、需要が伸びたものの、円高により円ベースの売上は微増にとどまりました。内需を中心に景気拡大が続く中国では、製薬、環境、食品安全などの分野で高速液体クロマトグラフ、ガスクロマトグラフ、光分析装置、表面分析装置の売上が増加し、また製薬分野での市場が大きいインドでは市況が回復に転じており、高速液体クロマトグラフの売上が大きく増加しました。

【今後の見通し】

- 国内市場では、官公需は前年度の大型補正予算関連のような需要は見込めませんが、民需は、円高の影響による先行き不透明感があるものの、電子・半導体関連を中心とした市場の回復、輸送機関連における環境・新エネルギー・電池・新素材分野での投資など、企業業績の回復に伴い市況に動きが出てきています。また、グローバルな競争激化により医薬分野での研究開発投資は依然として堅調です。これらの分野での旺盛な需要に対応し、高速液体クロマトグラフ、ガスクロマトグラフ、質量分析計の競合力強化を図っていきます。
- 海外市場は、産業の急成長や環境・安全への規制強化から官民とも活発な需要を維持する中国、製薬分野での需要が大きいインドなど、新興国市場に対する取り組みを強化します。特に継続的な成長が見込まれる中国では、現地ニーズを取り込んだ製品開発を推進し、エリア特性に適応した汎用製品を投入することで、現地製品に対する競合力を強化して拡販を図ります。

主な製品

ガスクロマトグラフ、高速液体クロマトグラフ、質量分析計、光分析装置、表面・組成分析機器、環境計測機器、材料試験機、非破壊検査機器、光学デバイス、レーザ機器、はかり

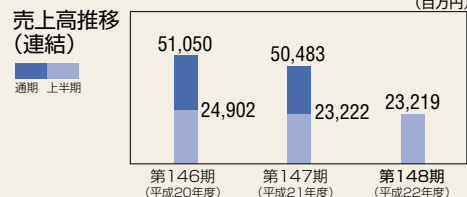
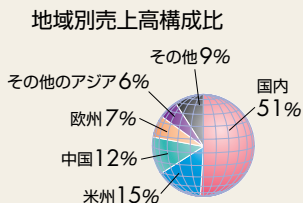
【トピックス】 トリプル四重極型液体クロマトグラフ質量分析計 LCMS-8030 を9月に発売

医薬品の成分の研究や食品などの残留農薬検査、環境分析などにおいて、膨大な数の試料や極微量しか含まれていない物質を迅速に分析したいというニーズが高まっています。LCMS-8030は極微量分析用の汎用装置として、これまでにない高速分析を実現しながら正確な分析結果が得られ、しかも高いコストパフォーマンスを特長としており、研究のスピードアップや検査の効率化に貢献しています。



LCMS-8030

医用機器事業



【概況】

- 国内市場は、国公立病院・大学病院において、補正予算の効果があつた前年度に比べて低調であったことなどから、全体の売上は微減となりましたが、大手民間病院では、平成22年4月の診療報酬改定により採算が上向き、X線装置のデジタル化の進行や装置の更新需要など設備投資の回復が見られ、引合いが増加傾向にあります。
- 海外市場は、欧州では、円高の影響などもあり売上は減少しましたが、米国、中国ではFPD搭載X線装置や回診用X線診断装置の売上が好調に推移したことにより、海外市場全体の売上は微増となりました。

主な製品

診断用X線装置、診断用核医学装置、近赤外光イメージング装置、医療情報システム

【今後の見通し】

- 国内市場では、平成22年4月の診療報酬改定により大手民間病院の投資意欲が改善しており、全体的には前年並みで推移するものと予想されます。今後本格化すると見込まれるX線装置のデジタル化に対応する商品群の整備を急ぎます。
- 海外市場では、全世界で進むX線装置のデジタル化、新興国における基礎医療分野への財政支出の増加、米国の医療改革の進行などにより、X線装置の需要は堅調であり、市場は拡大していくものと予想されます。競合メーカーとの競争や、急激な円高に打ち勝つために、継続的なコストダウンと付加価値の高いアプリケーションの開発に全力で取り組みます。特に血管撮影システムでは新たな画像処理技術の導入により大幅な画質改善を実現し、拡販に取り組みます。

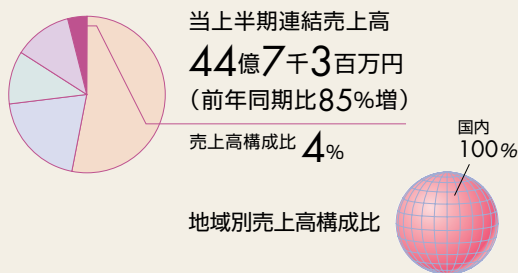
【トピックス】 医用機器新工場が完成

6月3日、京都市の本社・三条工場内に約40億円を投じた医用機器の新工場が完成しました。新工場は、血管撮影システムの大型製品やX線管などを生産します。また、病院に納めた大型装置の稼動状況を遠隔でモニターするリモートメンテナンスセンターも集約しました。工場内には生産部門に加え、サービス、品質保証部門を配置し、各組織と機能の連携強化を図りました。これにより、生産性の向上、顧客ニーズに合致した製品開発のスピードアップ、サービスの改善に取り組み、さらなる顧客満足度の向上を目指します。



血管撮影システムの組み立て

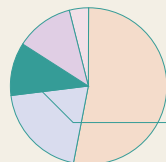
その他の事業



主な事業

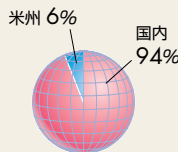
不動産賃貸、不動産管理、ソフトウェア開発、製品設計、建設舗床業

航空機器事業



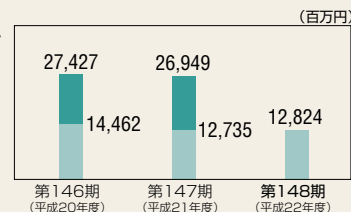
当上半期連結売上高
128億2千4百万円
 (前年同期比1%増)
 売上高構成比 **11%**

地域別売上高構成比



売上高推移 (連結)

通期 上半期



【概況】

- 防衛需要中心の国内市場は、主要戦闘機(F-15)近代化改修の売上などが底堅く推移し全体としての売上は微増となりました。
- 海外市場は、エアラインの旅客数の減少などによる民間航空機需要の減退や円高の影響により、売上が減少しました。

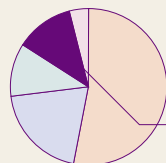
主な製品

空調システム、飛行制御システム、ヘッドアップディスプレイ、ロケット用バルブ、航空機器機能試験装置

【今後の見通し】

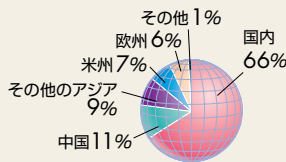
- 国内市場は、防衛需要において主要戦闘機近代化改修関係の売上が谷間になること等もあり、厳しい状況が予想されます。
- 海外市場では、民間航空機市場の回復の遅れや円高の影響もあり、売上は前年より微減となるものと予想されますが、今後の市場回復時に対応可能な事業規模の拡大とコストダウンによる収益性の向上を図ります。

産業機器事業



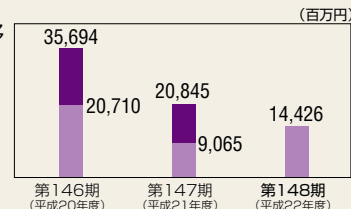
当上半期連結売上高
144億2千6百万円
 (前年同期比59%増)
 売上高構成比 **12%**

地域別売上高構成比



売上高推移 (連結)

通期 上半期



【概況】

- 産業機器は、半導体市況及び液晶パネル市況が好調で、中国を中心とした建材用ガラスコーティング用途も増大したことなどにより、ターボ分子ポンプの売上は急回復し、過去最高水準となりました。また、太陽光発電市場も各国の普及促進政策を背景に拡大し、国内の太陽電池メーカー向けを中心に太陽電池成膜装置の売上は増加しました。
- 油圧機器は、産業車両・建設機械分野を中心に回復傾向が続いており、売上は大幅に増加しました。

主な製品

ターボ分子ポンプ、液晶TFTアレイ検査装置、太陽電池成膜装置、液送機器、油圧機器

【今後の見通し】

- 産業機器では、半導体市況は当面好調を維持するものと見込まれます。ターボ分子ポンプは、円高の状況でも欧州競合メーカーとの価格競争に打ち勝つことができる競争力の高い商品の開発、生産効率の向上、アフターマーケット事業の強化により収益向上に努めます。太陽電池成膜装置は、コストパフォーマンスをさらに改善させ、またサービス体制の充実によりアフタービジネスの展開を図り、売上の拡大を目指します。油圧機器は、市場の回復を受けて需要がさらに増加するものと予想され、引き続き、各需要分野におけるシェア拡大により売上の増加を目指します。

新興国市場における事業展開 —インドと南米—

経済成長が著しい中国は、当社の海外事業の中で最も重要な位置を占めるようになりました。そして中国に次いで世界経済に影響を与える新興国としてはインドとブラジルが注目されており、この2か国における当社の事業も大きく伸長していくものと期待しています。今回はこのインドと、ブラジルを中心とした南米地域における主な取り組みについてご紹介します。

急成長するインド製薬市場で事業拡大

当社がインドに進出したのは40年以上も前に遡ります。1960年代に光分析装置の販売を始め、クロマトグラフ、試験機、バイオ機器と徐々に製品の幅を広げてきました。2006年には、計測機器の販売と顧客対応のための関係会社SHIMADZU ANALYTICAL (INDIA) PVT. LTD.を
シマツ アナリティカル インディア プライベート リミテッド
ムンバイ市に開設しました。このムンバイ本社とデリー支店にはカスタマーサポートセンターを設置しており、お客様向けの製品トレーニングやメンテナンス講習会なども実施しています。また、現地代理店はインド全土に多くの当社製品専門スタッフを配置して、販売とサポートを行っています。



顧客支援の様々な講習会を開催

最近のインドは、世界の製薬企業による投資が活発で“世界の製薬工場”と言われるようになり、また製薬の研究受託業務も盛んです。これらの分野では、分析機器を24時間稼働させる顧客が多く、当社はこのような顧客の動向に対応した製品と強力なサポー

ト体制を早くから整えてきました。これらにより、昨年度のインドにおける計測機器事業の売上高約40億円のうち、製薬分野における売上高は6割を占めるようになりました。



今年度は、主力の新 インドのスタッフ

製品（右、トピックス欄をご参照）を市場に投入して、計測機器事業のさらなる売上拡大を目指しています。

南米各国の経済政策や医療制度改革への対応に注力



SHIMADZU DO BRASIL
COMERCIO LTDA.

当社は、南米進出の足がかりとして1988年にブラジルのサンパウロ市に事務所を開き、現在は、関係会社である
シマツ ド ブラジル
SHIMADZU DO BRASIL
コメルシオ リミターダ
COMERCIO LTDA.が、計測機器と医用機器の販売を行っています。

南米地域の中でも経済が好調なブラジルは、豊富な食糧、鉱物などの天然資源を活かすための

科学技術振興策や、国民生活の水準を向上するため

の医療制度・教育改革などを積極的に推進しています。

現在、当社はこれらの需要への対応に注力しています。計測機器事業では、2008年から2009年にかけて、ブラジルの国家プロジェクトでのバイオディーゼル研究用として、大学へガスクロマトグラフや質量分析計を大量に納入しました。

一方、医用機器事業では、当上半期にメキシコ政府系機関からフラットパネル検出器（FPD）搭載の回診用X線撮影装置を大量に一括受注しましたが、これを契機に、医療水準の向上を目指すブラジルをはじめ、南米各国の政府系機関からもFPD搭載の製品やデジタル式一般撮影装置などの大口の引合いが増えています。

南米地域における2009年度売上高は約60億円弱ですが、今後は南米各国の財政投資による需要への対応のみならず、民間の成長分野への営業活動も強化して、さらなる売上拡大を目指します。

多彩な顧客支援セミナーを開催



ブラジル放射線学会展示会



第148期上半期の主なトピックス

平成22年(2010)

■ 計測機器事業
■ 医用機器事業

5月 ■ 食品、生体検査、環境分野などにおける微量成分分析の効率化が図れる省エネ型ガスクロマトグラフ質量分析計GCMS-QP2010 Ultraを発売。

■ 胸部や腹部、整形分野などで使用するX線画像診断装置で、被験者の一層の低被ばくと、操作性を向上する機能を充実したRADspeed Proを発売。



6月 ■ 食品検査や医薬品開発などの用途で、1検体あたり約2分で1,900種類以上の微生物の種類を特定することができるAXIMA微生物同定システムを発売。

7月 ■ におい・風味の調整や賞味期限の基準づくり、悪臭の原因推定や異臭の数値化などが容易に行えるにおい識別装置FF-2020システムを発売。

8月 ■ 当社最上位機と同等の検出能力を持ちながら、約30%の省電力を実現した省エネ型キャピラリガスクロマトグラフGC-2025を発売。



9月 ■ トリプル四重極型液体クロマトグラフ質量分析計LCMS-8030を発売。(2頁トピックスをご参照)

連結決算の概要

連結貸借対照表

(百万円)

	当上半期末 (平成22年9月30日)	前期末 (平成22年3月31日)		当上半期末 (平成22年9月30日)	前期末 (平成22年3月31日)
資産の部			負債の部		
流動資産	174,225	183,778	流動負債	76,712	85,397
現金及び預金	28,609	29,367	支払手形及び買掛金	42,145	44,820
説明1 受取手形及び売掛金	71,650	83,051	説明2 短期借入金	8,805	14,650
たな卸資産	63,847	63,015	その他	25,761	25,926
その他	11,114	9,447	固定負債	44,403	45,567
貸倒引当金	△ 996	△ 1,103	説明2 社債	10,000	10,000
固定資産	98,596	100,325	説明2 長期借入金	11,734	12,196
有形固定資産	(66,683)	(67,614)	退職給付引当金	15,494	15,806
建物及び構築物	36,105	33,803	その他	7,175	7,564
機械装置及び運搬具	4,087	5,157	負債合計	121,115	130,964
土地	18,771	18,824	純資産の部		
その他	7,719	9,829	株主資本	160,348	158,601
無形固定資産	(6,760)	(6,266)	資本金	26,648	26,648
投資その他の資産	(25,152)	(26,444)	資本剰余金	35,188	35,188
投資有価証券	8,479	9,975	利益剰余金	99,170	97,411
長期貸付金	1,092	1,307	自己株式	△ 658	△ 646
その他	15,751	15,436	評価・換算差額等	△ 8,857	△ 5,678
貸倒引当金	△ 170	△ 275	その他有価証券評価差額金	1,930	2,829
			為替換算調整勘定	△ 10,787	△ 8,507
			少数株主持分	214	215
			純資産合計	151,706	153,139
説明1 資産合計	272,822	284,104	説明2 負債純資産合計	272,822	284,104

説明1 総資産の減少

受取手形及び売掛金が114億円減少したことなどにより、総資産が113億円減少しました。

説明2 借入金依存度の改善

有利子負債が63億円減少したことなどにより、借入金依存度が1.8ポイント改善し11.2%となりました。

説明3 当上半期の業績状況(対前年同期比)

売上高が前年同期に比べて116億円増加したことに伴い、営業利益が27億円、経常利益が20億円それぞれ増加しました。また、中間純利益は16億円の増加となりました。

連結損益計算書

(百万円)

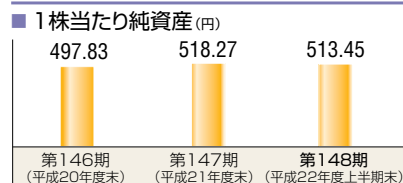
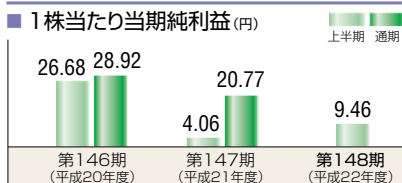
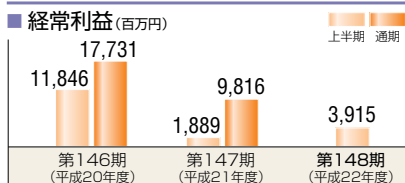
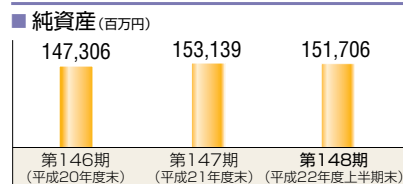
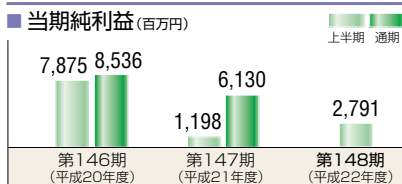
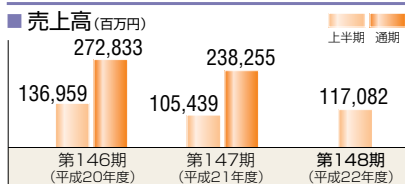
	当上半期 (平成22年4月1日～ 平成22年9月30日)	前上半期 (平成21年4月1日～ 平成21年9月30日)
売上高	117,082	105,439
売上原価	73,632	65,468
売上総利益	43,450	39,971
販売費及び一般管理費	38,768	37,956
営業利益	4,682	2,014
営業外収益	901	811
営業外費用	1,667	935
経常利益	3,915	1,889
特別利益	5	14
特別損失	392	90
税金等調整前中間純利益	3,529	1,813
法人税、住民税及び事業税	1,305	988
過年度法人税等戻入額	—	△ 389
法人税等調整額	△ 580	11
少数株主損益調整前中間純利益	2,803	1,202
少数株主利益	12	3
中間純利益	2,791	1,198

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	当上半期 (平成22年4月1日～ 平成22年9月30日)	前上半期 (平成21年4月1日～ 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,596	1,191
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,626	△ 3,549
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,811	1,770
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 863	621
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△ 704	35
現金及び現金同等物の期首残高	28,242	23,673
現金及び現金同等物の中間期末残高	27,538	23,708

業績の推移〈連結〉



グループ会社紹介

Vol.11

島津エミット株式会社

- 本社：大阪市中央区
- 設立：1994年
- 資本金：4千万円
- 年間売上高：41億9千5百万円（平成22年3月期）
- 従業員数：93名（平成22年9月30日現在）

中期経営計画では、「真のグローバル企業」を目指し、“世界に支持される島津ブランド”の構築を目標として掲げています。今回は、島津グループの産業機器の製造・販売・サービスを行い、世界に通用するグローバル企業を目指して共に取り組んでいるグループ会社を紹介します。

Q.島津エミットはどんな会社？



A. 島津エミットは島津グループの真空機器・油圧機器・液送機器の販売・サービス、及び自社製品である真空ポンプ・真空装置・制御機器の製造・販売・サービスを行っています。

島津グループの製品の販売ではお客様とメーカーの潤滑油として、満足いただける製品の紹介、アフターメンテナンス(装置の組立・据付・修理)などきめ細かいサービスを提供しています。

また、自社製品の真空ポンプ・真空装置及び制御機器の電動バルブアクチュエータは、いずれも伝統技術に立脚する製品ですが、これに先端技術を融合させ、お客様に信頼される高品質でコストパフォーマンスに優れた製品を提供しています。



電動バルブアクチュエータでシェアの拡大・新規市場への参入を図ります！

電動バルブアクチュエータは、浄水場、発電所、製油所、船舶などで、水、空気、蒸気、油などの流体を移送する配管の途中に設置されるバルブを、電動モータとギヤ減速機を組み合わせる開閉・制御するための装置です。今年7月から販売を開始した新しいダイナミックアクチュエータは、ダイレクトモータで直接バルブを駆動する画期的な方式で、大形電動バルブアクチュエータに、ダイレクトモータによる直接駆動方式を採用、開発に成功したのは、世界初です。またギヤ減速機を使用しないため潤滑油(オイル)が不要で、オイルの補充・交換などのメンテナンスも必要とせず、さらにオイルレスのため環境にやさしいことが大きな特徴であり、オイルレスのニーズの高い水道プラントや大型船舶などに最適です。

実績のある小形に加え、大形までをラインアップする総合電動バルブアクチュエータメーカーとして国内外に積極的な営業活動を展開して、シェアの拡大・新規市場への参入を図ります。



島津エミット全国事業所



ダイナミックアクチュエータ
(EFシリーズ)



電動バルブアクチュエータの
製造ライン

会社概要 (平成22年9月30日現在)

商号 株式会社島津製作所
SHIMADZU CORPORATION
創業 明治8年(1875年)3月
設立 大正6年(1917年)9月
本社所在地 〒604-8511
京都市中京区西ノ京桑原町1番地
電話075-823-1111(代表)
資本金 26,648,899,574円
従業員数 単独3,184名 連結9,795名
連結子会社数 国内32社 海外44社

主要な事業所 (平成22年9月30日現在)

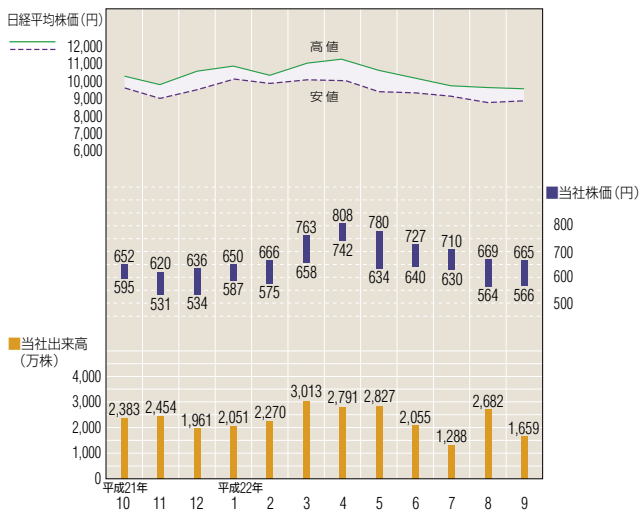
本社 京都市中京区西ノ京桑原町1番地
支社 東京/関西(大阪市)
支店 京都/九州(福岡市)/名古屋/横浜/
北関東(さいたま市)/神戸/つくば/広島/
東北(仙台市)/札幌/四国(高松市)/静岡
工場 三条/紫野(いずれも京都市)/厚木/秦野/瀬田(大津市)
研究所 基盤技術研究所(京都府精華町/東京都千代田区)
田中耕一記念質量分析研究所(京都市)

株式情報 (平成22年9月30日現在)

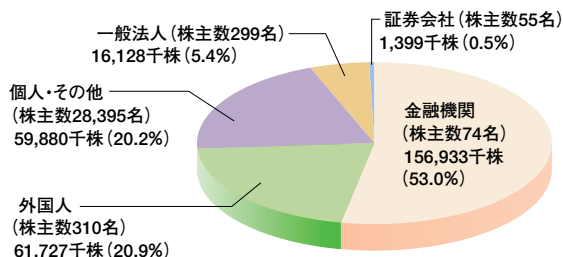
株式の状況

株主数……………29,133名
発行済株式総数……………296,070,227株

株価の推移 (東京証券取引所)



株式の所有者別分布



大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社[信託口]	23,660	8.02
日本マスタートラスト信託銀行株式会社[信託口]	22,630	7.67
明治安田生命保険相互会社	20,742	7.03
株式会社三菱東京UFJ銀行	7,672	2.60
東京海上日動火災保険株式会社	7,531	2.55
太陽生命保険株式会社	7,411	2.51
サジャップ	7,261	2.46
日本生命保険相互会社	6,182	2.10
野村信託銀行株式会社[投信口]	5,550	1.88
全国共済農業協同組合連合会	5,192	1.76

* 持株比率は、自己株式(1,023,305株)を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催
基準日	定時株主総会、期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日 (その他必要ある場合は、公告のうえ設定します。)
公告方法	電子公告とし、当社ホームページ (http://www.shimadzu.co.jp/aboutus/ir/kk.html) に掲載します。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、京都新聞および日本経済新聞に掲載します。

上場証券取引所	東京・大阪
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話(通話料無料)0120-094-777 (受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)

株式に関するお問合せ先

証券会社等の口座に記録された株式に関するお問合せ先

口座を開設されている証券会社等にお問合せ下さい。

特別口座に記録された株式に関するお問合せ先

三菱UFJ信託銀行(特別口座の口座管理機関)にお問合せ下さい。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。

連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社大阪証券代行部 電話(通話料無料)0120-094-777(受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)

未払配当金のお支払いについて

三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

お知らせ

「中間配当金お支払いについてのお知らせ」は、当期より、株主様宛のハガキのご送付に代えて、当社ホームページ(<http://www.shimadzu.co.jp/aboutus/ir.html>)への掲載に変更いたしております。ご了承頂きますようお願い申し上げます。

島津創業記念資料館のご案内

昭和50年、創業100周年記念事業の一環として創業者である初代および二代目島津源藏の遺徳を偲び、当社創業の地、京都木屋町二条に開設。明治の創業から昭和中期までの理化学器械・産業機械やX線装置ならびに事業活動に関連する文献・資料など約600点を展示、一般公開しています。

■ 休館日 / 水曜日、年末年始

※平成22年11月末から平成23年2月末まで
改装工事と展示リニューアルのため休館します。

■ 入館時間 / 9:30~16:30(閉館17:00)

■ 入館料 / 大人300円 高・中学生200円
団体割引(20名以上20%引)



島津創業記念資料館(国の登録有形文化財)

建物は、創業当時のままの姿を残しています。

- 市バス 京都市役所前下車徒歩約2分
- 京阪電車 三条下車徒歩約7分
- 地下鉄東西線 京都市役所前2番出口下車徒歩約2分
- 京都駅からのアクセス
市バス:205(四条河原町方面)、17系統乗車
タクシー:約20分



〒604-0921 京都市中京区木屋町二条南
●TEL/075-255-0980 ●FAX/075-255-0985
●<http://www.shimadzu.co.jp/visionary/memorial-hall/>

キトリ

島津創業記念資料館

株主様無料入館券

本券1枚につき4名様まで無料で入館いただけます。
(平成23年3月1日から平成23年9月末まで有効)

 SHIMADZU

<http://www.shimadzu.co.jp/>

●再生紙を使用しています。

DP050-0148A
0220-11001-30B-NS